

茅葺きの秘密基地をつくろう ～茅刈り体験～

対 象 エ リ ア	おおい町名田庄地区
日 時	平成25年11月23日（土） 13:00～15:00
開 催 場 所	ふるさと文化財の森センター周辺の茅場（小浜市中名田地区）
参加者（人数）	名田庄地区の住民 参加者12名
主 催	福井県
協 力	森の郷なかなた産物組合 おおい町奥名田児童センター NPO法人 森林楽校・森んこ おおい町
講 師	森の郷なかなた産物組合 組合長 中野 幸男 氏
ね ら い	<p>おおい町名田庄地区にはかつて、茅葺屋根の民家が多数あった。しかし、茅葺屋根だった建物はトタンや瓦に葺き替えられ、現在では茅葺屋根のまま残る建物は数軒にとどまっている。このままでは名田庄地区の原風景である茅葺屋根の建物がなくなってしまう。</p> <p>そこで、茅に親しんでもらい、茅葺屋根の残る里山風景について地域の方々が誇りと愛着を持ち、茅葺民家の保全活動のきっかけを作るため、茅葺の秘密基地づくりを行う。今回はその材料調達のために、茅刈り体験を行った。</p>
プ ロ グ ラ ム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 茅にまつわる話を聞く 2. 茅刈りの手順と注意事項を聞く 3. 茅刈り体験をする
準 備 物	<p>【服装】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防寒着 ・長靴 ・厚手のゴム手袋 <p>【その他道具類】</p> <p>茅刈りに必要な鎌や熊手等は、森の郷なかなた産物組合にて用意</p>



小浜市中名田地区の茅場での作業風景。茅刈りをこの時期に行う理由は、降雪によって茅が倒れてしまい強度が弱くなってしまうのを防ぐためとのこと。



最初に、小浜市で茅生産をしている「森の郷なかなた産物組合」の組合長から、茅の特徴について話をしてもらった。

茅（かや）・・・チガヤ、スゲ、ススキなどの総称。稲や麦などの「藁（わら）」と比べると油分があるため水をはじき耐水性が高く、昔は屋根材として用いられた。



茅刈りの注意事項について説明してもらった。茅の葉は鋭く、また、茅を刈ったあとの茎部分は堅いため、茅場での歩き方や茅の取り扱いに気を付けることを学んだ。



茅を数本集めて茎についている葉を熊手で鋤いて整え、ワラで束ねた。



刈り取って束ねた茅を乾燥させるため、穂を上にして寄せ掛けた。この状態で越冬させて、十分に乾燥させた茅を春に収穫する。



最後に、茅刈り体験の参加者たちで記念撮影。次回の秘密基地づくりが楽しみだ。